

とちむら産直市場及び釧路フィッシャーメンズワーフ視察研修

平成29年6月6日

納内地域集落対策協議会では、将来の納内産直売場のあり方について模索・研究するため、総勢28名で「とちむら産直市場」を視察研修し、産直売場担当の千葉さんから説明を受けました。

市場には近隣地域の50～60件の農家から出荷があり、商品は道内各地の加工品も含めて1,500アイテムを年中陳列し、正職員2名を含むスタッフ12名で運営しており、年間売り上げは2億9千万円を維持しているが、昨年の大雨被害により離農した農家があるので、出荷農家の減少が懸念されるとのことでした。

熱心に話を聞いていた参加者から「価格の決め方」や「手数料はどれくらいか？」など質問があり大変参考になりました。

釧路フィッシャーメンズワーフでは、担当者から「広い敷地内にテナントは現在32店舗で、主に海産物が中心となっており、テナント全体の売上高は6億円」との説明がありました。館内32店舗を順次見て回り大変有意義な研修となりました。



△とちむら産直市場（産直売場担当の千葉さんから説明を聞く）



△とちむら産直市場内を見学